

ニッサン インフィニティ Q45

日本 / 1989



北米マーケットでの高級車販売チャンネル、「インフィニティ」でトップモデルに据えられた4.5リットルV8エンジンを搭載するビッグサルーン。'85年の東京モーターショーで参考出品されたエクスペリメンタルカー、CUE-Xの生産型ともいえる。'89年初頭にメイン市場の北米で先行デビュー、日本国内は同年11月に発売した。新鮮な印象を与えるグリルレスのフロントマスクは話題を呼んだが、やはり高級車市場には馴染まず、'93年のマイナーチェンジではダミーのグリルが追加された。初期モデルのダッシュボードには、加賀の漆職人が手作りで製作したという蒔絵風のパネル「KOKON」がオプションで選択可能だった。エンジンはV8・40HC32バルブという高度なもので、日本仕様で280PSのハイパワーを発揮した。かねてから日産が全社一致で取り組んでいた901運動（'90年までに日産が世界で一番優れたハンドリングを持つことを目指した運動）の成果はこの大型サルーンでも生かされ、4輪マルチリンクが与えられた脚は、この種のモデルとしては異例に優れたハンドリングを誇る。しかし、本来高級車に求められるべき静粛性やトータルバランスはライバルのレクススLS400（日本名トヨタ・セルシオ）に及ばず、個性的なスタイルも裏目に出て販売的には苦戦を強いられた。'96年にデビューした3代目シーマが、新たに北米でインフィニティ Q45 を名乗ることになると、この初代Q45は主役の座を明渡しフェードアウトしてゆく。

インフィニティ Q45

エンジン

搭載位置	フロント縦置
種類	ガソリン 4サイクル
冷却方式	水冷
シリンダー配置	V型
気筒数	8
バルブ形式	D0HC
排気量(cc)	4494
最高出力(PS/rpm)	280/6000 (net)
最大トルク(mKg/rpm)	40.8/4000
燃料容量(Ltr.)	85

駆動方式

駆動方式	FR
変速機	4速AT フロア

シャシー

サスペンション 前	独立 マルチリンク コイル
サスペンション 後	独立 マルチリンク コイル
ブレーキ 前	ディスク サーボ
ブレーキ 後	ディスク サーボ
タイヤ	215/65R15

ボディー

構造	モノコック
ドア数	4
全長(mm)	5090
全幅(mm)	1825
全高(mm)	1430
車輻重量(kg)	1770
乗車定員(名)	5

性能

最高速度(km/h)